

留萌ダム

来春の植樹が楽しみ
緑丘小学校5年生が植樹の準備に汗流す



留萌ダム周辺を郷土の森にするため、5年生の児童が来春に予定している植樹の準備作業を体験しました。この活動は、留萌みなとライオンスクラブの協力を得て、今年で3回目となる取組です。

あいにくの小雨模様でしたが、児童34名が9種類(ハルニシ、アズキナシ、コマユミ、オヒョウ等)の苗床から短時間のうちに440余りのポット苗を作成しました。はじめに昨年秋に採取した実生の生育状況を観察した後、ポット苗の作り方の実演では周りを取り囲み、真剣に見入っていました。作業は屋内に用意した3種類の用土を丁寧に混ぜ合わせた後、ポットに炭を敷き詰めて苗を用土でしっかり固め、樹種の名札を取り付け育苗箱に並べました。

このポット苗は来年6年生になった春、留萌ダムの広場に植樹を行い「千バベリの森づくり」を体験してもらう予定です。

